

# 5つのマニフェスト

## マニフェスト 1. 高速道路を活かした地域経済の活性化

高速道路を活用して農林水産業・製造業等の振興と雇用拡大をはかります。企業誘致を4年間で8社以上をめざします。

- 高速道路を活用して、農林水産物の「鳥取ブランド」の確立と販路開拓、また、産学官連携を強化して、製造業などで新製品の開拓と新分野の進出をめざします。
- 産業振興・企業誘致により地域の雇用の場を図ります。
- 平成14～17年度企業誘致6社（代表例：ツーウェイシステムとっとり、セコム山陰）の実績から、高速道路網の整備を踏まえ、来る4年間で8社以上をめざします。

## マニフェスト 2. 観光資源の魅力アップにより観光客の大幅増加

平成21年度を『因幡の祭典』の年とし、広域観光イベントを盛大に開催します。平成22年度の観光客数200万人以上をめざします。

- 鳥取自動車道の開通と市政120周年を記念して、平成21年度に市民参加の広域観光イベント『因幡の祭典』を盛大に開催します。
- 大阪など大都市圏にアンテナショップを開店するなど、鳥取市を売り出すための効果的な情報発信を行います。
- 広域的な連携を強化し滞在型観光に重点を置いて、平成22年度観光客数200万人以上をめざします（平成16年度151万人）。

## マニフェスト 3. 人口が増加していく住みよいまちづくり

待機児童ゼロ、若者定住をはじめ、教育・健康・福祉の施策を充実させ、平成22年度の鳥取市人口20万3000人をめざします。

- 本市の「新元気プラン」「地域福祉計画」「障害者計画」などに基づく保健・福祉の充実を図ります。
- 総合的な子育て支援体制の強化により待機児童ゼロを実現するとともに、教育の充実を図り、次世代育成にしっかりと取り組みます。
- 若者に魅力のあるまちをつくるため、平成19年度に農業ビジネススクールを開校するなど若者定住を図ります。また、大都市圏で定年を迎える人などを中心に、U・J・Iターン者を積極的に受け入れます。
- これらの施策により平成22年度国勢調査で人口20万3000人をめざします。

## マニフェスト 4. 地域コミュニティの充実と強化

平成19年度中に地区公民館の充実を図り、地域の自治会や市民団体が行う防災・福祉・文化・スポーツ活動を強力に支援します。

- 合併後の本市において、市民生活の維持向上を図るため、地域コミュニティの充実強化は大変重要な課題です。
- 地域の自治会や市民団体が行う防災・福祉の面も含めて文化・スポーツ活動などが一層盛んになるよう、公民館の拠点としての位置づけを明確にし、総合的に地域コミュニティを支援していきます。
- 中央公民館と地区公民館の連携のもとで、地域の活動拠点として一層の体制強化と機能充実を図ります。

## マニフェスト 5. 市民との協働と市民サービスの向上

平成18年度に、若者との協働によるまちづくりをめざし『若者会議』を新設します。市役所に何でも相談できる『市民総合相談窓口』を設けます。

- 市役所の市民に対するサービスの向上に努めるとともに、市民と行政との協働によるまちづくりを進めます。
- 次代を担う若者の意見を市政にとりいれたまちづくりを進めるため、「若者会議」を新設します。
- 平成16年5月に開設した「くらし110番」に加えて、新たに市民がゆっくり落ち着いて何でも相談できる「市民総合相談窓口」を設けるなど、市役所の相談機能の充実を図ります。